

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回千種警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年2月28日（水） 午後1時30分から午後3時30分までの間</p> <p>-----</p> <p>千種警察署 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員</p> <p>伊東 洋平 会長、黒木 真知子 副会長、 西垣 智康 副会長、北川 則子 委員、加藤 卓男 委員、 高田 怜美 委員、L E L E I T O 委員、 佐々木 昭雄 委員、渡邊 美穂 委員、難波 太一 委員 貝塚 琴美 委員</p> <p style="text-align: right;">以上 11名（定数12名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p>河野署長、山田副署長、栗木警務課長、 伊藤会計課長、弓場生活安全課長、森地域課長 出口刑事課長、澤田交通課長、神谷警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上 9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p>なし</p>
諮 問 事 項 等	「警察に求める犯罪被害者支援活動」について
答 申 等 の 概 要	<p>1 初期支援等の積極的な犯罪被害者支援活動の推進</p> <p>2 各メディアやイベント等を活用した広報啓発活動の推進</p> <p>3 被害者が相談しやすい環境の整備</p>
そ の 他	○ 次回開催予定 令和6年5月下旬頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	会長及び副会長の選出等
	委員の互選により、伊東委員を会長に選出し、会長は黒木委員、西垣委員を副会長に指名した。
3	会長及び副会長挨拶
4	署長挨拶
5	各種報告
	(1) 令和5年中の管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 令和5年中の管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
	(3) 速度取締り指針（交通課長説明）
	(4) 警察官採用について（警務課長説明）
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	「令和6年の千種警察署に望む警察活動」について
	(2) 答申事項
	ア 多発傾向にある自転車盗に対する抑止対策の強化
	イ 悪質な自転車利用者に対する指導取締りの継続
	ウ 高齢者に対する特殊詐欺対策の更なる強化
	エ パトロール活動の一層の強化
	(3) 推進施策（警務課長説明）
	令和6年中の取組状況となることから、半期ごと（第二回協議会、第四
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
回協議会) に進捗状況を説明する旨説明した。	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
「警察に求める犯罪被害者支援活動」について	
(2) 諮問事項の設定理由 (警務課長説明)	
ア 犯罪被害者支援活動とは、犯罪被害者等が、その受けた被害を回復し、	
又は軽減し、再び平穏な生活を営むことができるように支援する活動で	
ある。	
イ 警察署では、犯罪に遭われた被害者等のために、各行政機関や団体等	
とあらかじめネットワークを構築し、それぞれの機関が被害に遭われた	
方に対してどのような支援やサービスが提供できるのかを取りまとめる	
等、支援体制を整えている。	
ウ 被害者支援活動について、周知するとともに、より効果的な方策につ	
いて検討する必要がある。	
8 協議	
委員	・ 警察が犯罪被害者支援という活動をしていることを知らなかった。
	周囲にも知っている人がいなかったなので、イベント等を活用し県民
	に広く知ってもらうことが重要ではないか。(10人の委員から同様の
	発言がなされた。)
	・ テレビ番組で警察官の活動が紹介されている番組があるが、とて
	も効果的である。犯罪被害者支援活動もテレビ番組等を活用し広報
	すると効果が高いのではないか。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 交通事故で両親を亡くした学生がメンタル不調となり登校できなくなることがあった。被害者支援活動でそういった遺族のケアができると思う。
委員	・ 犯罪被害者支援活動について、地域住民への広報が不十分である。
委員	・ 犯罪被害に遭った被害者と最初に接するのは警察官である。その警察官の対応は非常に重要である。担当制とし、専門の人が対応するようにすると良いのではないかと。
	・ 支援金の調達について募金等を行っていると思うが、周知が足りていない。積極的に広報をするべきである。（1人の委員から同様の発言がなされた。）
委員	・ 犯罪被害者支援について、研修を受けたことがあるが、相手の心情に配慮した声掛けなど、非常に難しいと感じる。
	・ 研修は受けたが6年間一度も対応したことがなく、うまく対応できるか不安である。専門のカウンセラー等が対応できると心強いのではないかと。
委員	・ 管内の小学校や中学校等にも重点的に広報をするべきである。生徒たちに学校以外のところにも相談窓口があることを周知するとともに、相談しやすい環境を整備してもらいたい。
委員	・ 被害者の手引きを読んだが、支援の対象犯罪がはっきりわからないので、表記すると良いのではないかと。
委員	・ 被害に遭った際、警察ではどういった対応をしてもらえるのか明確に示してもらいたい。
	記録者 警務係長

